

# 三光地区遺跡群発掘調査概報Ⅲ

1994・3

大分県下毛郡  
三光村教育委員会

## 例 言

1. 本書は、三光村教育委員会が国庫と県費の補助を得て平成5年度に実施した、二光地区遺跡群発掘調査事業の調査概要である。
2. 各調査の実施にあたっては、大分県教育庁文化課、三光村建設課、土地所有者のご協力を得た。
3. 現地では、調査指導員のほかに大分県文化課諸氏のご指導、ご助言を得た。
4. 本書の編集及び執筆は、植田が行った。

## 目 次

第1章	はじめに	1
第2章	調査の概要	
	1. 白木地区	3
	2. 山口小学校地区	4
	3. 総合グランド予定地区	6

## 挿 図 目 次

第1図	三光村内遺跡分布図	2
第2図	調査地位費図(白木地区)	3
第3図	調査地位費図(山口小学校地区)	4
第4図	総合グランド予定地位蓋図	6
第5図	トレンチ及び築城位置図	7

## 第1章 はじめに

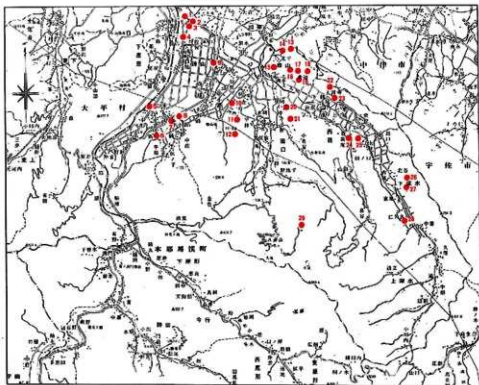
三光村は大分県の北端にあって、北を中津市、東を宇佐市、南を本耶馬溪町に接している。村の西側には一級河川山国川が流れ、周防灘へと注いでいる。また村の南側には標高 659 m の八面山がそびえ、三光村はそこから派生する低い丘陵と、山国川、犬丸川によって運搬堆積された上砂によってできた平野部とで形成されている。このような自然地形をもつ三光村には、多くの遺跡が存在している。

本年度三光村では、産業廃棄物処理場予定地の試掘調査と、山口小学校校舎増築に伴う試掘調査、また総合グラウンド予定地の試掘調査をそれぞれ実施した。

調査団の構成は、下記のとおりである。

### 調査団の構成

調査主体者	三光村教育委員会
調査責任者	花崎貞雄（三光村教育長）
調査委員	賀川光夫（別府大学教授）
調査員	清水宗昭（大分県教育庁文化課主幹兼埋蔵文化財第1係長） 植田由美（三光村教育委員会）
事務局	財方俊美（三光村教育委員会次長） 梶原春代（　　　　　　”　　　主査）
発掘作業員	藤野武志・清城玉英・上永紀代子・佐々木貞子・相良スナミ・相良トメ・ 相良ノブ子・高畑キヨカ・川野ヨシ子・釘丸雪子・松尾初枝
整理作業員	土橋厚子・乙峠里美



第1図 三光村内遺跡分布図(1/100000)

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1. 上ノ原横穴墓群(横穴)      | 16. 美濃尾遺跡(集落跡・散布地) |
| 2. 上ノ原遺跡(集落跡)       | 17. 倉迫平遺跡(集落跡・古墳)  |
| 3. 佐知久保知遺跡(集落跡・散布地) | 18. 倉迫ニツ塚古墳(古墳)    |
| 4. 佐知遺跡(集落跡・散布地)    | 19. 野辺田横穴墓群(横穴)    |
| 5. 城横穴墓群(横穴)        | 20. 岡崎遺跡(散布地)      |
| 6. 外園遺跡(中世築)        | 21. 岡崎城跡(城跡)       |
| 7. 臼木古墳群(古墳)        | 22. 三ツ塚古墳(古墳)      |
| 8. 臼木遺跡(散布地)        | 23. 天神原横穴墓群(横穴)    |
| 9. 諫山遺跡群(集落跡・散布地)   | 24. 塔ノ熊窯跡(窯跡)      |
| 10. 成恒城跡(城跡)        | 25. 塔ノ熊虎寺(寺跡)      |
| 11. 庵ノ尾横穴墓群(横穴)     | 26. ブリヤネ城跡(城跡)     |
| 12. 鴨山横穴墓群(横穴)      | 27. 深水邸埋納遺跡        |
| 13. 森山遺跡(集落跡)       | 28. 憂迫遺跡(地下式土坑)    |
| 14. 北平横穴墓群(横穴)      | 29. 八面山東部地区遺跡      |
| 15. 洗添横穴墓群(横穴)      |                    |

## 第2章 調査の概要

### 1. 日本地区

調査地は眼下に佐知平野を望む丘陵のはば先端に位置する。周辺には昭和25年に行われた耶馬溪道路の拡張工事で多量の土器とともに石膏上壊葉が見つかった鎌山遺跡がある。

今回の調査は、産業廃棄物処理場の予定地、約1,000㎡を対象に行った。

重機で開発予定地に4本のトレンチをいれ調査を実施したが、遺物、遺構ともに全く確認されなかった。



第2図 調査地(日本地区)位置図(1/10000)

## 2, 山口小学校地区

調査地は三光村大字成但で、八面山から派生する丘陵の先端部に位置する。周辺には周知遺跡として、成但城跡や庵ノ原横穴墓、鴨山横穴墓などがある。

調査は学校の校舎増築の事前調査として、約1,500㎡を対象に行った。

調査地の大半は既に削平をうけており、遺物、遺構ともに確認されなかった。



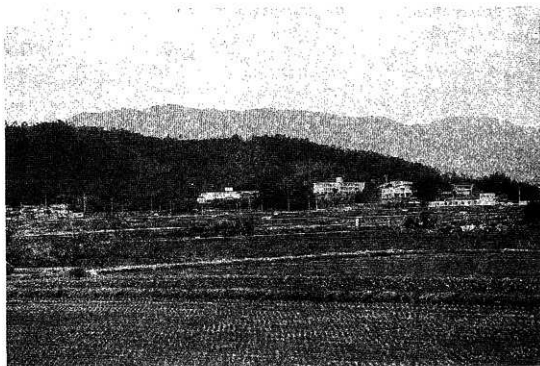
第3図 調査地(山口小学校地区)位置図(1/10000)

### 3、総合グランド予定地区

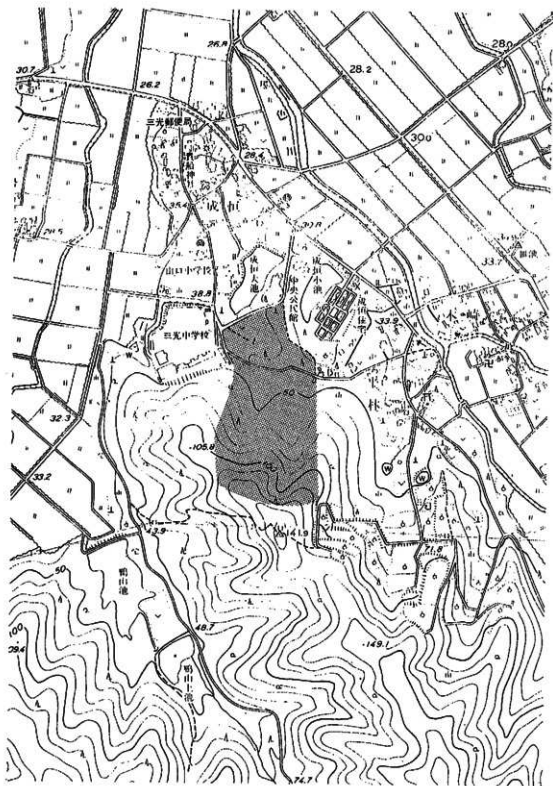
総合グランド予定地は三光村大字成恒に位置する。開発予定面積は約13ヘクタールで、その予定地のなかに庵ノ尾横穴墓群が所在している。また開発予定地に隣接して県指定の瑞雲寺誕生仏が出土した瑞雲寺遺跡がある。グランド予定地は八面山から派生した丘陵上にあり、荒廃地と森林地帯になっている。

今年度は開発予定地全体の分布調査と、一部重機により試験調査を実施した。その結果、グランド予定地北側に近世墓群が所在していることなどが確認され、これらの墓地群は墓碑名などから、18世紀前後のものと分かった。またこの墓地群周辺には低いマウンドをもちそのうえに五輪塔の傘の部分のをせたものや、マウンドだけの墓等も所在している。

横穴墓については、平成3年の台風19号等で倒れた木の伐採が終了しておらず、開発予定地に何基の横穴墓が所在しているのか把握できなかった。次年度引き続き調査を行う予定である。



総合グランド予定地遠景



第4図 総合グラウンド予定地位置図(1/10000)





第5図 トレンチ及び墓域位置図



横穴墓群



横穴墓群



重機による表土剥ぎ



トレンチ発掘風景



近 世 墓



近 世 墓



近 世 墓



近 世 墓

---

三光地区遺跡群発掘調査概報Ⅲ

1994年3月

発行／三光村教育委員会  
(下毛郡三光村大字原11)

印刷／昭和堂印刷

---